

令和5年度第1回阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議（議事録）

令和5年6月14日（水）

【場 所】阿南医療センター 2階講義室 時 間：14:00～15:00

【参加者】 病院関係 寺嶋 吉保 （阿南医療センター）
森 数江 （阿南医療センター）
横手 美穂 （阿南医療センター）
久積 美里 （阿南医療センター）
歯科衛生士 武田 美輪 （徳島県歯科医師会南部歯科連携室）
薬剤師 内田 浩二 （薬剤師会・オリーブ薬局）
居宅介護支援 倉橋 智子 （居宅介護支援事業所ほっとピース）
小規模多機能 木村 賢徳 （ライフサポートキムラ）
特別養護老人ホーム 井出 主樹 （健祥会バイエルン）
阿南市役所 佐坂 甲 （地域共生推進課）
山口 八千恵 （地域共生推進課）
阿南市在宅医療・介護連携支援センター
湯浅 祐司

【欠席者】 病院関係 米津 浩 （阿南医療センター）
阿南市役所 吉岡 泰香 （保健福祉部）
阿南市役所 兼任 恵理 （地域共生推進課）
阿南市在宅医療・介護連携支援センター 福島 咲由理（看護師）

①地域共生推進課挨拶

・佐坂甲課長補佐より挨拶

本年度より佐坂甲課長補佐に就任し、医療と介護の多くの事業に携わることとなった。医療と介護を必要とする地域高齢者の生活を守るため、支援が切れ目無く提供できるよう意見を頂きたい。また、医療従事者と介護従事者が顔の見える関係づくりで最も連携の図れる会であるので、是非、連携に向けて頑張ってもらいたい。

②阿南医療センター挨拶

・寺嶋 吉保先生より挨拶

新型コロナウイルス感染症の影響で緩和ケア病棟の患者も在宅での看取り等の要望が増えている。また来年度は、医療制度と介護制度の同時改正の年であり、来年度は在宅対応の変革の年であると予想されている。そうした中で医療と介護が、地域に開かれた連携強化に繋がっていききたい。

③自己紹介

・本日参加のワーキンググループメンバーの自己紹介

④在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議の目的

「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」を図るため、多職種で意見交換等を行い、連携強化及び専門職としての知識向上を目的としている。

ワーキンググループ会議で、医療と介護の連携での問題点の抽出・議論、ケアカフェの研修内容の決定等を行う。

・その他の在宅医療・介護連携支援センター関係会議説明

《阿南市在宅医療・介護連携推進会議》

阿南市在宅医療・介護連携事業の取り組みや課題に対して助言や対応策を議論し、具体的な解決策を見出すことを目的としている。

ワーキンググループ会議・ケアカフェで出た問題点、在宅医療・介護連携支援センターに寄せられた問題点等について委員の皆様と議論していただき、結果をワーキンググループ会議・ケアカフェ等でフィードバックして課題解決への対応を行う。

《ケアカフェについて》

多職種が顔の見える関係づくりの構築をし、連携強化を図り地域住民の皆様が在宅での生活が長く継続できるよう、専門性の向上を目的としている。

また開催方法は、このコロナ禍でなかなか会うことができない、名前は知っているが顔が分からない等を直接会ってコミュニケーションを図り連携に繋がっていく。

《在宅介護サービス事業所連絡会》

阿南市内の施設・事業所間において、お互いの顔の見える関係づくりや情報共有などを行い組織化に繋げることを目的としている。各事業種別に部会を結成し、日頃の業務での悩みなど、幅広く意見交換等を行い連携に繋がっていく。

(部会種別)

- ①老人保健施設・通所リハビリ・訪問リハビリ部会
 - ②特別養護老人ホーム部会
 - ③軽費老人ホーム・養護老人ホーム部会
 - ④グループホーム部会
 - ⑤(看護)小規模多機能居宅介護部会
 - ⑥居宅介護支援事業所部会
- ※通所介護部会・訪問介護部会も参入調整中

⑤意見交換会

《ワーキンググループ会議について》

・開催日について

⇒開催日は6月14日、10月25日、1月24日の3回開催とし、会場は阿南医療センターでの開催として、各種会議等で議論し、フィードバックしていく。

・ワーキンググループ会議メンバーについて

⇒令和5年度より昨年度の意見も踏まえ、新たに内田氏と井出氏がメンバーへ加わって頂いた。在宅医師が一身上の都合で参加できなくなり、代替りの先生を阿南市医師会へ相談をしております。今年度も必要な職種があれば提案してメンバーも考案していく。また、必要に応じて会議に参加して頂くような柔軟な会議も検討していく。

《ケアカフェについて》

目的：医療・介護従事者が顔の見える関係づくりを行うことで、連携の強化を図る。

開催回数：年3回 予定：7月19日、11月21日、2月20日

会場：阿南医療センター2階講堂

講義内容：ワーキンググループ会議で決定する。

講師：阿南医療センター医師、介護従事者等、テーマにより講師を決定。

開催方法：15:00～17:00（講義1時間、講義後1時間予定でグループワークを行う。）

参加者：ワーキンググループメンバー及び開催ごとに決定する。

※参加人数は会場収容者数を考慮して上限50名とする。

- ・第1回目は現在重要視されているACPについて行う。講師は阿南医療センター寺島吉保先生が行い、開催日は7月19日に決定。

案内先は、阿南市医師会・医療センター・薬剤師会・歯科医師会・老人保健施設・特別養護老人ホーム・訪問看護事業所・居宅介護支援事業所・お世話センター・ワーキンググループ会議を対象とし悩みや共通認識及び資質向上を図ることを目的とする。飲み物は前田院長より提供。

- ・今年度も参加者が講義内容を各施設で研修して頂き、資質向上を目指す。研修内容は撮影してYouTubeで動画配信を行う。HP及び希望施設へQRコードで案内を行う。

《市民公開講座について》

- ・令和5年3月に行った市民公開講座ではYouTube やケーブルテレビで配信があり住民より冊子等を頂きたいとの問い合わせもあり好評である。
- ・今年度は令和6年2月実施予定で新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、ワーキンググループ会議で開催内容を検討する。

⑥その他

- ・阿南市在宅医療・介護連携支援センターのリーフレットについての説明
- ・ACP の周知について

出前講座を阿南医療センター寺島先生へお願いをして調整して開催。講師は阿南医療センター寺島先生、中島看護師、在宅医療・介護連携支援センター湯浅で行う。

講師の人材確保として医療・介護従事者へ案内をし、相談員研修・指導者研修の受講をする。会議後寺嶋先生と打ち合わせを行う。

- ・お薬手帳へ主治医や担当ケアマネを記載して迅速な対応ができるよう、次回会議で議論する。

【会議風景】



報告者 センター長 湯浅 祐司